

安全衛生委員会議事録（第5回）

日 時	令和6年8月21日（水） 午後1時30分～午後2時30分	
場 所	シルバー人材センター会議室	
出席者	委員長	信田光隆（事務所長）
	委員	村瀬敏之（産業医） 埴原久美子（派遣会員）、大塚みさ子（派遣会員） 江口正美（派遣会員）、三浦大輝 富田泰弘（衛生管理者）
議事・報告	<p><b>1 あいさつ</b> 先週、南海トラフ地震臨時情報が発令され、災害対策品としての水や米が店頭で品薄となった。市場が落ち着いたら各家庭で3日分を目途に備蓄するなど、いつ起きても大丈夫な様に改めて備えをお願いしたい。 最近では、発熱等の症状が無い新型コロナウイルス感染者がある。一般的な風邪より感染力が高いため、感染した場合は活動を控えて頂きたい。</p> <p><b>2 走行中に大地震が起きたときの避難行動</b> 大地震が発生すると、道路の陥没や建物の倒壊等の危険があるため、道路外の駐車場などに駐車して、安全な避難先を探して頂きたい。また、緊急車両の通行を確保するために、やむを得ず道路上に置く場合は、エンジンキーを付けたままドアロックをせずにして下さい。 ・委員各自の食料品のまとめ買いしておくなどの地震対策を紹介してもらい参考にしていただいた。</p> <p><b>3 むくみは病気のサイン？原因や解消法</b> むくみは血流の低下によって引き起こり、塩分やアルコールの摂りすぎが原因になる。また、腎臓、心臓、肝臓の病気のサインでもあるため、症状が改善されない場合は、医療機関を受診して頂きたい。</p>	
決定事項	今回の議事録をウェブサイトに掲載して広く会員に周知して、大地震が起きた場合の避難行動及び、むくみの解消法についての啓発をする。	
産業医指導	<p>大地震が発生して、避難所や車中泊の生活になった場合、同じ体勢で生活するような行動の制限から身体がむくみ、エコノミー症候群を発症する可能性がある。身体を動かすことで予防できるので、もしもの時は、身体を動かし予防に努めて頂きたい。</p> <p>塩分の摂りすぎは、むくみの原因ではあるが、夏の熱中症対策には塩分は必要であるので、適量を心掛けて頂きたい。</p> <p>大府市は独自の取り組みで、健診の種類によっては一日の塩分摂取推定量の表示があるので、健診結果を確認して頂きたい。</p>	